

社協お知らせ第5号

表面:ふれあいいいききサロン特集
裏面:地域だより(その2)
平成29年11月20日発行
内部地区社会福祉協議会 Tel 347-1224

いきいきサロン活動について

少子高齢化社会に突入し、支援を必要とする高齢者が増加しています。市ではふれあいいいききサロン活動を通じて参加を促し、元気で楽しく長生きして暮らせる町づくりを支援しています。内部地区では、社協が窓口となり自治会単位でのサロンづくりを目指し、活発に活動していただくよう取り組んでいます。暖かく絆のある町「うつべ」にする為、皆様の参加をお待ちしています。

高齢化率 65歳以上が3割超の地域も！ 高齢化率は地域で格差が大きい

波木ヶ丘町・貝家町・小古曾町・北小松町・南小松では高齢化率は30%を超えています。

体力低下

引きこもり

ふれあいいいききサロン活動で予防・生きがい作り

認知症

孤独死

どんなサロンがあるの？

ふれあいいいききサロンは高齢者が地域で気軽に集える憩いの場です。内容によって3つに分類されていますが、どれでも、どなたでも自由に参加できます。また、新規に始めることもできますので内部地区社協にお問い合わせください。

- ・単一メニューサロンは料理やグラウンドゴルフ・卓球など趣味的な集まりです。
- ・イベントサロンは健康体操・講演会など、その都度行う内容が異なる集まりです。
- ・カフェサロンは和気あいあい、お茶を飲みながらおしゃべりする集まりです。

采女が丘ラジオ体操の様子

毎週月曜日早朝、自由参加で行っています



はぎがおカフェの様子



「カフェサロン」は一人100円の運営協力金を払えば、だれでも参加できます。お代わり自由のコーヒーとお菓子がふるまわれます

順位	通称町名 (自治会名ではない)	住民数	65歳以上 割合(%)
1	波木が丘町	914	36.8
2	貝家町	476	35.5
3	小古曾町	172	33.7
4	北小松町	461	32.5
5	南小松町	653	30.8
6	小古曾1~6丁目	3,418	26.1
7	采女町	4,259	24.4
8	波木町	1,824	18.9
9	采女が丘1~5丁目	2,570	14.3
10	小古曾東1~3丁目	692	13.6
11	波木南台1~4丁目	1,984	5.2
12	森力山町	614	0.0
	合計・全体平均	18,037	20.8

※H29年10月時点の市の資料を基に算出

内部地区ふれあいいいききサロン活動の紹介

~年老いても健康で長く地域で生活できるまちづくりを目指して~

内部地区全体を対象

10自治会 24サロン+1が活動中

各地区で運営する<ふれあいいいききサロン>

(平成29年10月地区社協集約)

自治会名	サロンNO	サロン名	分類	開催場所	開催日
采女町南部	1	ふれあいいいききサロンうね女	単	采女町公会所	1回/月
	2	采女体操クラブ	単	采女町公会所	毎週
	3	うね女民謡同好会(竹の子会)	単	采女町公会所	3回/月
采女北部	4	ゆうあいクラブ	単	采女町91-3空き地	毎週
	5	イキイキサロンスマイル	カ	采女町北部集会所	2回/月
南小松町	6	フラダンスの会	単	南小松町集会所	3回/月
	7	グラウンドゴルフクラブ	単	南小松町運動広場	12回/月
北小松町	8	ふれあいいいききサロン	イ	北小松公会所	1回/月
	9	グラウンドゴルフ同好会	単	北小松中央公園	12回/月
貝家町	10	あったか交流サロン	イ	貝家町公会所	1回/月
波木が丘町	11	はぎがおかカフェ	カ	波木が丘第2集会所	1回/月
小古曾町	12	歌の会 小古曾教室	単	小古曾町公民館	4回/月
	13	グラウンドゴルフ愛好会	単	小古曾神社境内	12回/月
	14	ニコニコヨガ教室	単	小古曾町公民館	4回/月
	15	ハツラツ詩吟教室	単	小古曾町公民館	4回/月
	16	ふれあいピンポン	単	小古曾町公会所	3~5回/月
	17	キッチンフレンド	単	小古曾町公民館	1回/月
	18	オゴソシスターズ	単	小古曾町公民館	1回/月
	東原町	19	ひいらぎ	イ	東原町集会所
20		いきいきクラブ東原	単	東原町集会所	1回/月
21		手芸クラブひなぎく	単	東原町集会所	1回/月
22		東原G・Gクラブ	単	小古曾第1号公園	20回/月
森ヶ山町	23	がらがらどん	子	森ヶ山集会所	2回/月
采女が丘	24	ラジオ体操と茶話会	単	采女が丘コミセン	毎週

内部地区全体を対象とした<サロン>

内部全域	カフェサロンうつべ	JA三重北うつべ支店	1回/月
------	-----------	------------	------

7/12 うつべの歴史資料集「うつべ歴史覚書」発刊



うつべ町かど博物館では「うつべの歴史覚書」A4版オールカラー271ページを発刊しました。あまり知られていない事跡を掘り起したものの、先人が残した歴史資料や地域の人からの寄稿文、さらに書籍や文献で内部について書かれた記事など、掘起こし探し集めた92本が取り上げられています。

7/29-8/19 今年の夏まつり・盆踊り うつべ音頭で盛り上がり

今年も山口亮さんが各所に出演。生歌でうつべ音頭を踊りました。

自治会名	日付	内容
采女町西部	8月12日	盆踊り
采女町中部	8月12日	盆踊り
采女町北部	8月19日	盆踊り
南小松町	8月14日	盆踊り
貝家町	8月12日	盆踊り
波木が丘町	7月29日	夏まつり
小古宮町	8月12日	盆踊り
高塚町	8月13日	盆踊り
采女が丘	8月5日	盆踊り



7/30 夏休み子ども歴史教室



館長予算を使った地域活性化事業の一つの柱である内部の歴史再発見事業として実施。子供教室で歴史をとりあげるのは初めて。今回のテーマは「後藤家采女城の興亡」と「東海道・杖衝坂と松尾芭蕉」の二本立て。市民センターでパワーポイントでの説明の後、杖衝坂まで散策しました。芭蕉句碑に因んで子どもたちには俳句作りに挑戦してもらいました。

7/24 内部川清掃活動が3度目の表彰

三重河川国道事務所で行われた平成29年度河川愛護月間表彰式において、33年にわたり流域住民全体で内部川の環境保全に取り組んできた功績により、内部川清掃実行委員会が中部地方整備局長表彰を受賞しました。1,000人を超える地域住民が参加する規模の大きさは群を抜き、高く評価されています。



内部川清掃はこれまでに下記2回の受賞歴があり今回で3回目です。
2008年(平成19年)「三重環境活動賞」受賞(三重県)
2012年(平成24年)河川愛護月間「感謝状」(中部整備局三重河川国道事務所)

8/1 采女の史跡「ちちぼさん」



采女町の南の山裾に、赤い布を巻いた石が置かれた小さな新しい祠があります。采女城とのつながりも伝えられ、古くは普賢菩薩としてまつられていたようですが、地元の人はお乳がたくさん出るようにとお参りして「ちちぼさん」の名で親しんでいました。

かつてはすぐそばの林の中にありましたが、昨年道路拡幅のため移設することとなり、現在の位置に設置されました。

8/7 台風5号への対応、深夜に避難所開設

台風5号は8月7日(月)東海地方に最も接近し、三重県は豪雨、暴風に見舞われました。内部川の水位上昇により、内部地区の一部に避難勧告が出されました。四日市市と地区自主防災協議会は市民センターに防災対策本部を立ち上げ、3か所の避難所を開設し災害に備えましたが、幸いにも被害はありませんでした。



8/18 夏休み子ども科学教室



昨年に引き続き2回目の開催。今年のテーマは「磁石の不思議」。四日市おもちゃ病院のドクターの皆さん6名を講師に迎え、クリアカップと磁石・コイルで作った手作りスピーカーに電気を流して音を聞いたり、乾電池と磁石・くぎ等で作った手作りモーターが回ることを実験しました。

9/4 カフェサロン「うつべ」が発足、開催

J Aみえきた内部支店にてカフェサロン「うつべ」が開催。カフェサロンうつべ実行委員会が主催して、住民の皆さんで高齢者を支え合い、支援する仕組みづくりを進める「介護予防・日常生活支援総合事業」として開催したものです。参加者は170名にのぼり、準備した150個のケーキやコーヒーも不足するほどの盛況でした。



9/30 秋の夕べに流れる名曲の数々



内部東小学校体育館を会場に、気軽に本格的な生演奏が楽しめるお月見コンサート。12回を迎えた今回はアンサンブル「ブランシュ」のみなさん。ヴァイオリン、ピアノ、サクソフォンによる女性3人のグループです。クラシックから始まり、TVドラマのメインテーマ、映画音楽、ハンガリーの民俗舞踊、童謡メドレー、歌謡曲まで、幅広い親しみやすい選曲で250名の観客を魅了しました。

10/2 采女城落城秘話 千奈美姫ゆかりの古井戸

采女城跡の本丸と思われる主郭にある古井戸。永禄11年(1568)織田信長勢の攻略を受け采女城落城の際、城主後藤采女正の息女千奈美姫が身を投げたとされています。この古井戸の格子覆いと安全柵が四日市中央ライオンズクラブの手で新しく、頑丈に作り替えられました。



10/2 「自分の命は自分で守る」防災講演会



内部地区自主防主催「防災講演会」が開催され、200名の住民が参加。講師は、阪神・淡路大震災記念「人と防災未来センター」の語り部東田せつ子さん。震災体験を基に、避難所生活での困った事の数々を具体的に話され、災害に対する事前の準備や、訓練の必要性、「自分の命は自分で守る」一人一人の心構えの大切さを強調されました。

11/5 第49回文化祭 うまい!おいしい!「郷土めし」

第49回を迎えた内部地区文化祭が内部小学校を会場として開かれ大勢の人で賑わいました。新しい取り組みとして、例年の催し物に加え、昨年からはじめた「小・中学生のスピーチ」、校庭でのみんなで踊ろう「うつべ音頭」のほか、今年は地域活性化事業(館長予算)で掘り起こした「郷土めし」の試食がありました。婦人会のみなさんが3日ばかりで作った郷土めし3点セット210食が無料でふるまわれました。



蒸し餅・大名炊き・押し寿司セツ